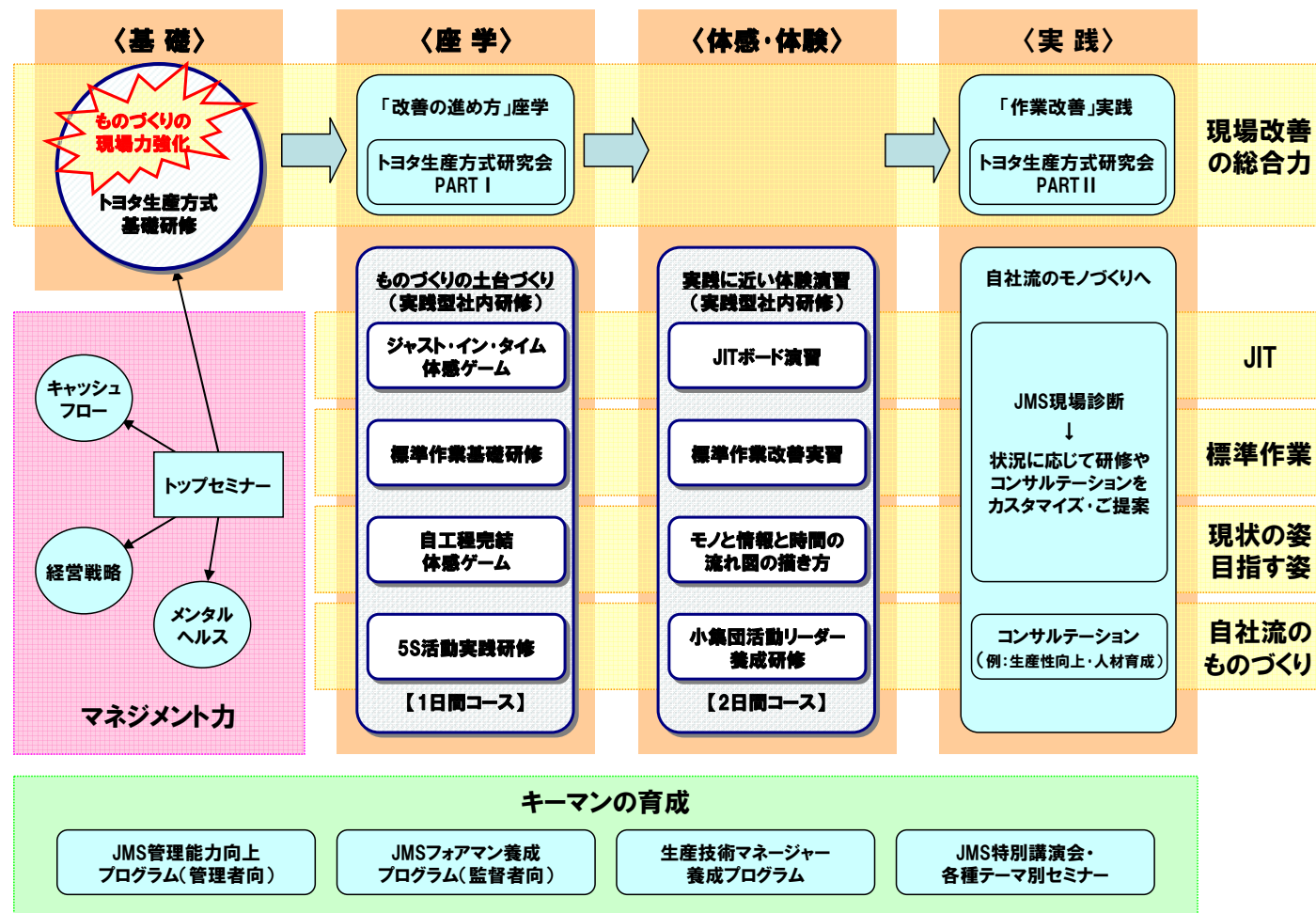


実践型社内研修・公開セミナー体系



※ が「実践型社内研修」、 が「公開セミナー」の内容です。ご要望に合わせて研修内容・日数等をカスタマイズいたします。

企業支援活動(生産革新・改善活動等のコンサルティング)のご案内

当事業部では、モノづくり企業のマネジメントを映し出す鏡として JMS(日本経営管理標準)を活用することで企業の強みと弱みを明確化し、その企業に合った人材育成(体質強化)を狙いとする支援活動(コンサルティング)に取り組んでいます(活動実績:TPS をベースとした生産革新活動支援、物流革新・経営活動支援、業務効率化活動支援、品質向上活動支援 等)。厳しい環境だからこそ、他社を一步リードするためのモノづくりについて共に考えて参りますので、ご興味ございましたら下記までお問い合わせ下さい。

【お問合せ先:(社)中部産業連盟 JMS事業部 TEL:052-931-9825 E-mail:jms@chusanren.or.jp】

JMS:Japan Management Standard(日本経営管理標準)のご紹介



JMS とは、「新世紀を勝ち抜くためのマネジメントの指針づくり」を目標に、日本を代表するモノづくり企業 15 社が集結。各社のマネジメント現場第一線で活躍する方々をはじめ、多数の関係者により具体的な体系をつくり上げられ、2001 年夏に世界に向けて発信しました。産業界自らの手で作り上げた JMS は、解説書・アドバイスシート・評価基準書という形でまとめられた叢書の集結といえます。

また、中産連 Web にて JMS 評価簡易体験版を公開しております。JMS によるマネジメントの現状評価を是非ご体験下さい。

URL:<http://www.chusanren.or.jp/jms/index.html>

モノづくりは人づくり

実践型社内研修のご案内



学び・気づきを実務で活かす

実習中心の社内研修をご提案します!

社団法人 中部産業連盟
中産連
JMS 事業部

社団法人 中部産業連盟
中産連

〒461-8580 名古屋市東区白壁 3-12-13
TEL:052-931-9825 FAX:052-931-5198

E-mail:jms@chusanren.or.jp
URL:<http://www.chusanren.or.jp/>

実践型社内研修

～モノづくりは人づくり～

基礎編

No.0001

トヨタ生産方式 基礎研修

トヨタ生産方式(TPS)の基本的な考え方を紹介すると共に、生成・発展してきた経緯、その根底にある真の狙いについて解説します。TPSを始めて勉強する・改めて整理する・実践型演習を受ける前に基礎を学びたい時にご活用下さい。

本コースで学べること

- ・ TPSの基本
- ・ TPSの特徴
- ・ 2本柱と標準作業

実践で使えるノウハウを、
体で覚える研修スタイル！

座学編

No.0002 ジャスト・イン・タイム体感ゲーム

トヨタ生産方式の2本柱の1つ「ジャスト・イン・タイム(JIT)」の考え方「必要な時に、必要なものを、必要な量だけつくる、運ぶ」について、模擬生産ラインを用いてボルトとナットを使用したゲーム形式で体感演習していただきます。小さく造って細かく運ぶことの重要性や、お客様へ売れるスピードで造る究極のモノづくりが体感できます。



本コースで学べること

- ・ JITの基本的な考え方
- ・ 計画生産と後補充生産
- ・ ロット生産と平準化生産
- ・ モノと情報の流し方

No.0004 標準作業票基礎演習

ものづくりのルール・基準を明確化し、改善の道具と位置づけられる標準作業とはどういったもので、どの様に活用していくか学んでいただきます。要素作業の分け方・時間測定の仕方、帳票を用いて模擬ラインの現在の姿を可視化するまでのストーリーを体験し、標準作業がいかに改善活動をする上で重要になるかが体感できます。

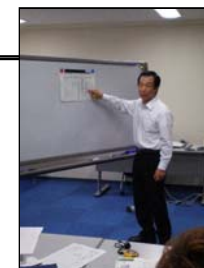


本コースで学べること

- ・ 標準作業の基本
- ・ 要素作業の分け方
- ・ 時間測定の仕方
- ・ 帳票類の活用体験

No.0006 自工程完結体感ゲーム

トヨタ生産方式の2本柱の1つ「自動化」の考え方「異常で止まる、分かる」が組み込まれた模擬生産工程を用い、品質を工程で造り込む「自工程完結」とはどういったことを体感いただきます。「自動化」と「自動化」の違いや、異常が発生した場合でもロスを最小限に食い止めるための押さえどころについてご理解いただけます。



本コースで学べること

- ・ 自動化と自働化の違い
- ・ 自働化の目的・ツール
- ・ 品質を工程で造り込む
- ・ 先入れ先出しの重要性

No.0008 5S活動実践研修

5S(若しくは2S)に関しては、どの企業も取り組まれているものと思いますが、多くの企業で正しい目的での取り組みに至っていないケースが見られます。本研修では、職場力・生産性・改善活動など様々な場面の土台となる5Sについて、教室ではなく実際に現場や職場に赴き、現地現物で正しいモノの見方・考え方・活動への取り組み方を身に付けていただきます。



本コースで学べること

- ・ 5S活動の本来の目的
- ・ ムダの発見
- ・ 5S導入の流れ
- ・ 改善活動への繋がり

体感・ 体験編

No.0003 JITボード演習

上記のJIT体感ゲームで、モノと情報の基本的な流し方に焦点を当てているのに対し、本研修ではJITの考え方を自社のサプライチェーン全体でどのように展開するか議論できます。演習では、内示と確定に差がある場合の、計画生産による押し込み方式と後工程引取り方式の違いとかんばんの運用について、実際にシミュレーションをしながらご理解いただきます。



本コースで学べること

- ・ 企業規模でのJIT
- ・ 全体最適の生産
- ・ 適正在庫の考え方
- ・ かんばん活用の効果

No.0005 標準作業改善実習

標準作業票を活用した上記改善ゲームに対し、本研修では「標準3票」を活用し、自社の複雑な実ラインで改善活動を行う前に、人と機械の作業が混在する模擬ラインで改善活動を体感いただきます。改善実習では、限られた時間内で要素作業の時間測定から標準3票の書き方から使い方まで身に付けていただく事で、製造現場に不可欠な改善のスピードも学びます。

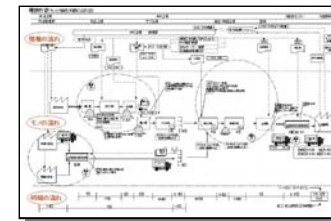


本コースで学べること

- ・ 標準3票の作成要領
- ・ 要素作業の時間測定
- ・ 人と機械の作業分析
- ・ 3票を活用した改善活動

No.0007 モノと情報と時間の流れ図の描き方

仕入先からお客様までの「モノと情報の流れ」を把握し、更に時間軸の考え方を加えて図示することは、ムダの発見や問題点の顕在化に繋がります。本研修では、モノと情報と時間の流れ図の具体的な書き方を習得いただくと共に貴社の流れ図を描き、全体最適の視点からリードタイム短縮・在庫削減・物流改善に結びつけるための活用方法を伝授いたします。



本コースで学べること

- ・ 流れ図の描き方
- ・ 実際に貴社の流れ図を描くことで、具体的な活用術が得られます

No.0009 小集団活動リーダー養成研修

収益改善・企業体質強化を進めるに当たり、QCサークルをはじめとする小集団活動の意義や位置付けは高いものになっております。本研修では、活動の中心となるリーダー(または候補者)に対し、QC的なものの見方・考え方・手法の活用方法を具体的に示すと共に、現在のレベルを把握し、活動を推進していくためのポイントを身に付けていただきます。

本コースで学べること

- ・ 小集団活動の基本的な考え方・意識付け
- ・ 小集団活動のリーダーに求められる能力
- ・ QC手法(Q7・N7等)とその活用方法
- ・ 活動推進のポイント

応用編

その他の研修 等

ご要望いただく状況に合わせ、下記のように様々な研修・勉強会をカスタマイズいたします。ご検討の際は、(社)中部産業連盟 JMS 事業部までご相談願います。

- 研修例：階層別研修、分野別研修(品質管理等)、キャッシュフロー演習
その他：各種講演会、工場見学会、JMS 現場診断、メンタルヘルス相談
各種コンサルテーション(テーマ:生産性向上・L/T短縮等)



※ 研修費用については別途お問い合わせ下さい。
※ 詳細は別紙の個別研修パンフレットをご参照下さい。

【お問合せ先】



社団法人 中部産業連盟 JMS 事業部(担当:佐藤)
〒461-8580 名古屋市東区白壁三丁目 12-13
TEL:052-931-9825 FAX:052-931-5198
E-mail:jms@chusanren.or.jp